





# ピアノ指導の現場から



# ～連載～ ピアノレッスンの今後



## 青木理恵の「コーチング・レッスン」

vol. 3

### Step 3 「叱り方」のテクニック

「私のレッスンは、ほめるばかりのワンパターン。緊張感が足りないと思いつつも、どう叱ったらいのかわからなくて。それに怒ったりしたら可哀想で…」若いピアノの先生が相談に来られました。

最近、ほめてばかりで叱れない、または、必要以上に叱ってしまう先生、お母さんが多くありませんか？では、なぜ「叱れない」のでしょうか？

可哀想と思う気持ちは、一見、優しさの表れのようにも思えます。でも、実は、怒ると後が面倒くさい、周囲の目やクレームが気になる、子どもに嫌われたくないといった気持ちがあるようです。

でも、もし叱るべき時に叱らなかったら、どんな子どもになってしまうのでしょうか？きっと、甘やかされて、我がままな子になってしまいます。その方が可哀想ですよね。

一方、「私は厳しく育てます」と自信を持っている先生やお母さんもいます。でも、子どものためと言いながら、自分のストレスをぶつけたり、すっきりするまで長々とお説教を続けるようでは、かえって逆効果です。

叱ることは、子どもの成長にとって、認めること同様、大切なことです。

皆さんは、メラビアンの法則をご存知ですか？私たちのコミュニケーションの伝わる割合は、言葉の内容はたったの7%、言葉以外の目や表情、声のトーンなどが93%と言われています。

さらに叱る時は、叱る側の感情がそのまま子どもに伝わってしまうことを忘れてはいけません。

例えば何度もミスを繰り返す子に、「あんなに教えたのに、許せない」という感情のおもむくまま叱ると、子どもの意識は「ミスに気をつける」ではなく「許してもらおう」方に向かってしまいます。本来、私たちの心の奥底には「子どもに、もっと良くなって欲しい」という思いがあるはず。期待が裏切られ続けると、怒りが爆発してしまうのです。そういう時、「良くなって欲しい」という原点に立ち返って、「どう言ったらこの子にわかるだろう」と効果を考える時間を持ちましょう。

そして、その子に1番変わる言い方で、バシッと叱ってサッと切り上げたほうが効果的です。

「こんなに何回も間違えなくても、きっとAちゃんなら出来るはずだと思うんだ」

「いったいどうしたの？いつものAちゃんらしくないね」

「Aちゃんにしては、ミスが続くね。こういうミスの連続はいけないよ。直さないとダメ」

「何に気をつけて弾いているのか聞かせてくれない？」

「ミスの原因は、音の読み違えだね。ミスなく弾こうとしているAちゃんの気持ちは伝わっているんだけど、残念ながら直っていないんだ。どうしたら、直せる？」

「惜しいなあ。他はパーフェクトなのに。ここだけじゃない。

出来るはずだよ」

ついつい口走ってしまう「何度言わせたらわかるの!」「ダメねえ〜(ため息)」「信じられない」「こんなことから、Aちゃんは(過去の失敗談を持ち出す)」「もういいッ!」というマイナスの言葉は、どんどん子どもの脳と心に入り込み「私はダメな子だ」と刷り込まれてしまいます。

マイナスがインプットされると、プレッシャーのかかった発表会やグレードなどで失敗するたびに「やっぱり先生、お母さんの言うとおりにダメだった」と証拠を集めてしまい、「私はダメな子だからいいや」というあきらめの気持ちを育ててしまいます。つい厳しく言ってしまったけれど、子どもを愛する先生、お母さん。その気持ちが裏返しになってしまわないように気をつけてくださいね。

そして、叱った後は、思いやりのある優しい声で締めくくり、子どもが新しい気持ちでピアノに向かえるよう背中をそっと押してあげましょう。

今日、1番つらいのはAちゃんだね

悔しさをバネにがんばった成果を聴かせてね  
最初から上手に叱れる先生、親はいません。実は、

10年以上前になりますが、親業を学んでいた私も「感情をコントロールなんて無理です。出来ません」とカウンセラーに詰め寄ったことがあります。「出来ないからこそ、もっといい親になりたいと学んでいるのでしょ。練習して、賢い親になりましょう。娘さんのために」カウンセラーに静かに諭され、私は親として少しずつ成長して、叱るコツを掴んでいきました。

### ■ 新刊案内 ■

とっておきのぴあれんキッズVOL.2  
～プレ・コーチング～

青木 理恵 編著 共同音楽出版社 1,260円

「とっておきのぴあれんキッズvol.2 プレ・コーチング」が発売になりました。38ページ～たのしいティーパーティ～では、練習に行き詰った時に、子ども自身がより良い方法を考えながら解決していくことを体験できます。試練を乗り越えた先の喜びを沢山体験して欲しいと願っています。

青木 理恵 Rie Aoki

ピアノ正会員、財)生涯学習財団認定プロフェッショナルコーチ。共育コーチング研究会会員。国立音大卒。アーティスト・コーチングサロン主宰。各種大学、企業にもコーチとして招聘され、さまざまな方面から高い評価を受けている。日本ではまだ数少ないプロコーチの資格を持つピアノ教師の一人。

HPとブログ:

<http://coachinglesson.blogdehp.ne.jp>

<http://www.coachinglesson.com/>



青木 理恵  
(アーティスト・コーチ)

### ♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

講座後のディスカッションでよく出る質問に「皆さんはわが子のレッスンをどうされていますか？」というのがあります。すると…「そうそう、悩むのよね〜」と何人かがまさに現在進行形の悩みの種といったご様子。

ちょうどその前の先生のお悩みが「最近入会された高学年の男の子…実はお母様がピアノの先生。どうもご自宅でもその子にレッスンされているようで、私が指示した曲想がどうも気に入らないようで、ご自分の納得のいくように赤字で直してあるんです。その子に“あなたは どう思う〜?”と聞くと、“わかんないよ〜”と…。あまりやる気もないようです。どうしたものでしょう。私もこのままではやりにくいし…」

すると、その場にいらした先生方も「私は、息子を教えています、高学年になって忙しくなり、大変さも見えているだけに、母と教師の両方の気持ちが揺れ動き…続けてほしいけれど、どうしたらいいのかわかっています。」と。「私は、自分では無理〜と思い、他人に預けました。でも娘が練習する音が気になって”音違うわよ〜”って。ある時は台所から走って”リズムがおかしい!”片手には包丁が…そんな姿お互いビックリ!なあってことがあったりで、ほんと、疲れるわ〜」どうもわが子の事となるとなかなか冷静にはなれず、その対応の仕方に悩むピアノの先生が多いようです。

そこで、もしピアノの先生のお子さんが入会されたらどうレッスンを進めていったらよいか考えてみましょう。相手も慎重に考え悩んだ末、先生の教室の門をたたかれたのです。まずは良き理解者、協力者になっていただくことです。専門の知識や技術をお持ちのお母様、上手に係わって頂けたら最高のパートナーです。家庭での練習の大切さ、長く続けることの必要性など、すべて分かってくさっています。ですからある程度、これからのレッスンの進め方や方向性などお伝えし、具体的に毎日の練習の習慣をつけるためにはどうしたらいいかしら…など、一緒に考えていくのもよいのではないのでしょうか。

同業者だけに、相手が何を考えているか分からないと、不安になりついついよけいな口出しをしてしまいがちです。先生の気持ちが分かることで安心でき、母と先生の役割が区別できるのではないのでしょうか。いずれにしても同業者のお子さんをお引き受けするには、肩の力を抜き良きパートナーと考えたほうがよいように思うのですが…( ^ - ^ )

### ★講座のご案内★

講師：岩瀬洋子

●魅力的なピアノ教室実現のための「導入指導マスター講座」  
今「ピアノのおけいこ」のあり方（練習しない/親子で根気がないなど）に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師（指導）、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

- 【東京】 第11期 7/5, 9/6, 10/4, 11/1 (毎回木曜日)
- ☒ 第12期 10/5, 11/2, 12/7, 1/18, 2/8, 3/7,4/11 (毎月金曜日) 受付開始!
- ☒ 【会場】 東京芸術劇場第5会議室
- ☒ (池袋駅西口徒歩3分) 10:00~12:00

【船橋】 7/10, 9/11, 10/9, 11/13

【福岡】 7/12, 9/13, 10/11, 11/22, 12/13

●魅力的なピアノ教室実現のための「ディプロマコース」  
これは上記講座修了者がさらに深く学習できるような実践的な内容で進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

- 【東京】 第9期 7/6, 9/7 (毎月月曜日)
- ☒ 【会場】 東京芸術劇場第5会議室 10:00~12:00
- 【多治見】 7/3, 9/4, 10/2, 11/6

講師：田村智子

- ピアノ教師のための指導認定講座
- 導入編 「7/20 姫路」
- 基礎編 「8/31・10/19 池袋」
- 「7/5 大分」

- STOP! さぼる生徒・さびるピアノ
- 「富山 7/11」「柳川 11/15」「千葉 11/22」

上記講座のお問合せは  
musickey@musickey-piano.com  
またはTel/Fax: 055-989-3900まで

ホームページ<http://www.musickey-piano.com/>

### 株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8  
TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)  
FAX 03-3866-2222 <http://www.prima-gakki.co.jp/>

札幌営業所  
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50  
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

名古屋営業所  
〒453-0016 愛知県名古屋市中村区黄金通り2-59 プリンセス名駅西1階 1A  
TEL 052-486-2630 FAX 052-486-2636